

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2017.9.8.

NO. 17

全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

福島支部、労働条件の課題

底上げに取り組み

市と県へ要請

福島学童保育支部は、3月21日に福島市への要請、4月28日には福島県への要請を取り組みました。

市には、「『基準』『運営指針』の運営主体への周知徹底」「希望する子どもが全員学童利用できるように保育料軽減措置の実施」などを要請しました。

県に対しては、「『基準』『運営指針』が出された後、県内の学童保育はどのように変わったのか、今後どのように進めていくか」として、「認定研修、資質向上研修の内容充実について」などの要望をいたしました。明快な返答は得られませんが、今後にも要請行動を重ねていきたいと思えます。



行政へ要請書を渡す阿部さん

不安定な労働条件

福島市には、69か所の学童保育所がありますが、多くが民設民営です。

今、組合のなかで大きな問題になっているのが労働条件についてです。

就業規則がない、雇用契約書もかわしていない、というところが多いのが現状です。

労働環境・条件の整備に、それほど関心が

なかったり、どうしていいかわからない指導員に対して、「学童保育指導員」として働き続けていけるように「働くための基礎知識」の勉強会を開催する予定です。

また、地域によって少子化が進行し学童保育所の運営が厳しい、という問題があります。保育料が高くて払えないという家庭があり、市の委託金も少なくて来年も開設できるか不安を抱えて働く指導員がいます。

これらの問題に取り組み、組合員を増やしていきたいと思えます。

(福島支部)

鈴木郁子

中央定期大会、開催

9月2～4日、建交労第19回定期大会が開催されました（群馬県安中市）。

全体討論では、学童保育部会長の立嶋さんから、各支部の春闘の取り組みや、国・自治体に向けた運動の強化で制度改善を進める決意が発言されました。

また、特別報告で愛知学童保育支部の新井さんから、組織拡大の発言もされています。

学童部会の仲間は、他に群馬県本部特別代議員の糸井さん、福岡県本部特別代議員の阿部さんが参加。また、新幹線の降り口となった高崎駅では、群馬学童支部の仲間が道先案内に立ちました。



大会後の交流会に、山田さん夫婦（群馬支部）が太鼓を披露しました。